

# 入院診療計画書












CP000923 様  
病名・症状:  
担当看護師:  
総合的機能評価:

入院日: 年 月 日  
パス名:  
担当薬剤師:  
担当栄養士:

病棟: 号室

西暦 年 月 日  
担当医:  
西暦 年 月 日  
患者様・ご家族様サイン

やわたメディカルセンター  
月 日  
看護師:  
月 日

期間	No	未定	未定	未定	未定	未定	未定	未定	未定	未定	未定
経過		入院～手術前日	手術当日(手術前)	手術当日(手術後)	術後 1 日	術後 2 日	術後 3 日	術後 4 日	術後 5 日	術後 7 日	退院(術後10日前後)
達成目標	P	●手術の目的、方法、合併症について理解できる。 ●手術前後の食事、安静度について理解できる。	●手術前後の食事、安静度について理解できる。 ●手術への不安が最小限である	●麻酔から順調に覚醒する。 ●安静臥床ができています。 ●痛みのコントロールができる。 ●患部の異常がない。 ●安静度が守られる。 ●チアノーゼがない。	●痛みのコントロールができる。 ●患部の異常がない。 ●安静度が守られる。 ●コレットを装着し、歩行器を歩ける。	●痛みのコントロールができる。 ●患部の異常がない。 ●安静度が守られる。 ●コレットを装着し、歩行器を使用せず歩ける。	●痛みのコントロールができる。 ●患部の異常がない。 ●安静度が守られる。 ●コレットを装着し、歩行器を使用せず歩ける。	●痛みのコントロールができる。 ●患部の異常がない。 ●安静度が守られる。 ●コレットを装着し、歩行器を使用せず歩ける。	●痛みのコントロールができる。 ●患部の異常がない。 ●安静度が守られる。 ●コレットを装着し、歩行器を使用せず歩ける。	●痛みのコントロールができる。 ●患部の異常がない。 ●安静度が守られる。 ●コレットを装着し、歩行器を使用せず歩ける。	●退院後の注意事項を理解し退院できる。 ●退院後の自主運動を習慣化している。
退院基準	P										【退院の基準】 ・独歩、階段昇降(1フロア)、シャワー浴が可能になれば退院となります。 ・外来でのリハビリテーションや運動施設での運動へ移行します。 ・仕事の復帰は医師に確認してから始めてください。 ・コレットは1ヶ月間装着しましょう。1ヶ月を過ぎても重い物を持つ時は装着しましょう。
活動・安静	P	・病院内での活動は自由です。 ・普段使っているコレットを入院時に持参してください。		・ベッド上安静です。 ・ベッドを30度起こすことができます。 ・痛みが強い時は看護師の介助により身体の向きを変えることができます。 (お手伝いしますのでいつでも申し出てください)	・傷のチューブ入ったままでも、コレット装着し排泄時に離床できます。 ・リハビリ担当者とコレットを着けて起き上がります。 ・歩行器を使用して歩行することができます。 ・痛みに応じて、座って食事をとることができます。	・院内を歩行することができます。 			外出・外泊できます。		・【退院の基準】 ・独歩、階段昇降(1フロア)、シャワー浴が可能になれば退院となります。 ・外来でのリハビリテーションや運動施設での運動へ移行します。 ・仕事の復帰は医師に確認してから始めてください。 ・コレットは1ヶ月間装着しましょう。1ヶ月を過ぎても重い物を持つ時は装着しましょう。
栄養(食事)・排泄・清潔	P	・手術前日の21時から食事は食べられません。アメ、ガムも食べられません。水、お茶、スポーツドリンクのみ飲めます。 ・手足の爪切りをお願いします。 ★特別な栄養管理の必要性【有・無】	・手術が午前場合は6時まで、午後場合は8時まで水分を摂ることができます。 ただし、内服薬がある場合は6時に少量の水で内服してください。 ・トイレを使用できます。 ・点滴を始める前にシャワーをすることができます。	・尿管が入ります。  ・手術終了8時間後から水分をとることができます。(飲水前にお腹の動きを確認します)	・食事が開始となります。 ・寝たまま食べるときはフォークで食べやすいような食事になります。 ・尿の管を抜き、トイレに行くことができます。 ・蒸しタオルで身体を拭き、更衣をお手伝いします。	・創部を保護してシャワー浴できます。  ・痛みに応じて、上体を軽前傾した姿勢で洗顔、入浴ができます。	・術後2日目にシャワー浴の許可がない場合、洗髪を行います。  ・栄養指導があります。(BMI25以上の場合、特別治療食を必要とする場合)			・術後8日目より、創部に異常がなければ、入浴できます。 	
治療・処置・検査・説明・指導	P	★手術予定時刻 時頃 ・マニキュア、ペディキュアを除去し、爪を切ってください。 ・口の周りの髭は全て剃ってください。 ・臍部のコレットをお持ちの方は看護師にご提示ください。 ・パンフレットで生活指導をします。	・手術時間は平均1時間半～2時間程度です。 【▼注意！】 ・指輪、ネックレス等の装飾品や、眼鏡、コンタクト、ヘアピンは外してください。 ・上の下着は着用せずに手術衣に着替えます。 ・9時頃に左腕から点滴します。	・手術直後から下肢の血流を良くするために、足をマッサージする機械を装着し、歩行開始後に外します。 ・手術中に傷の部分にチューブが入ります。 ・病室時より酸素マスク・心電図モニターをつけます。主治医の指示に従います。 	・採血があります。 ・1日3回(朝・昼・夕)抗生物質の点滴を行います。 ・傷のチューブは、出血状況に応じて、ガーゼ交換の時に抜きます。 ・スタッフが立会いのもと臍部のコレットをつけ、起き上がります。 	・出血状況に応じて、傷のチューブを抜きます。 ・創部のガーゼ交換があります。 	・採血があります。 ・創部のガーゼ交換があります。			・CT検査があります。 ・採血します。 ・術後7日目に抜糸です。表面に糸が出ない埋没縫合の場合抜糸はありません。フィルムを除去して、傷口の状態を確認します。	・独歩、階段昇降(1フロア)、シャワー浴が可能になれば退院できます。 ・退院後の生活についてご説明します。 ・再診日は退院日が決定したら医師より指示がでます。 
作業療法	P	・生活状況の情報収集を行います。 ・術後に備えての生活全般の動作指導を行います。	・お休み	・お休み							・自宅の環境や生活のアドバイスを行います。
理学療法	P	・筋力測定や計測などを行います。 ・手術後に使用する歩行器の調整を行います。 ・起き上がり動作や歩行器歩行の練習を行います。 ・血栓予防のための足関節の運動を説明します。 	・お休み	・お休み	・術後理学療法が始まります。 ・排泄時に離床する場合は、コレット装着し動作の指導・確認をします。 ・臍部に負担のかからない運動を行っていきます。 ・痛みに応じて、コレット装着し、座る練習や立つ練習を行います。 ・痛みに応じて、コレット装着し、歩行器にて歩行練習を行います。	・独歩練習を開始します。 ・階段昇降の練習を行います。 				・術後7日から、痛みに合わせて、自主練習、家事動作、車の乗り降り動作を行います。 ・必要に応じて、外来でのリハビリテーションや運動施設での運動への移行をします。 ・自宅で行う運動についてご紹介いたします。	